

女性の地位向上（2/5）： 端の中

:

明:

カナダのマギル大学で行われた、イスラ ムがいかに女性の地位を向上させたかについての の抄 。
第二部: 去の 解の反 として生じた、女性に する 在の西洋的立 、そしてイスラ ム世界における女性
。

目:[事代における女性](#)

より: アリ アッ=タミ ミ

日 1 Feb 2011

集日 21 Feb 2011



これが西洋によって引き された であり、その 1800年代に女性による初の著作と、この
ような理念の 化を えるある の男性が れ始めました。そしてこれと共に女性 の起源がも
たらされました。その初期のものひとつとして、
1782年にメアリ ウルストンクラフトによって 表された「女性の 利の 」があります。女
性による 利取得の流れは、この に始まりました。女性は1800年代まで の所有を められ
ておらず、男性のように出 をすることが出来なかったため、それらの最初のものは基
本的に法的 利でした。欧米で女性の 保有を める法律が出来たのは、19世 最 の数十年 に
なってからだったのです。

革命はこの女性にさらなる拍をかけました。特に英国の革命において、女性は炭などのをいられていましたが、男性に比べるとその入はかったも同然でした。それゆえこの当初のストライクとは、同じにする同の酬を求めるものだったのです。

そして20世になって遂に、西洋のとしてめられているすべてのものが出ました。第二次世界大のから始まった女性からは、女性の法的利にだけでなく、社会の理に疑を呈することによって、より大きな性的自由を男女問わず得しようというきも出始めました。そこでは、多くのは婚姻制度と家族理念が原因なのでであると争われました。人々はそれらから解き放たれる必要性にして主したのです。

そして最終的に1990年代になると、西洋社会における支配的なは、我々は性ではなく性そのものについてすべきである、というものになりました。この理念は近年出版された本「The Age of Extremes (邦 :

20世の史端な代)」において表されています。著者は男女に差はなく、性は境のみによるものであるとします。したがって、教育境や候をえることにより男性は女性の役割を、女性は男性の役割を果たすことが出来るようになるということです。そしてこの流れが在に行き着いています。私たちはこの2500年前のから、本的人性を否定されていた女性のギリシャにおいて表されていた一端と、在性には差がないとされ、境や候のであると表されているもう一端を出します。これはもちろん非常に素化された世界的解のひとつです。これまでの数分で2500年をまとめるのには多少理がありますが、おおよその当はついたはずで

私がをおししたいもう一方の解は、イスラムの解です。イスラムの女性にする点は、どのようなものなののでしょうか？まず第一に、私たちはギリシャの哲学者やフランス革命の文芸家とはなり、ムスリムは彼らの概念、理念と信仰が人的起源ではないと信じていることを理解する必要があります。彼らは、彼らが教えられたもの、信じているもの、践しているもの、そしてそれらすべてにび付いているものは、神によって彼らに示されたものの一部であるということを知っているのです。それゆえその真と正当性については、それが神による示であるためにの余地が存在しないのです。彼らは、神は自らの造について最も良く知るのでであると主します。かれは人をった智にちた

